

教育課程の編成及び実施に関する方針及び教育目標

学校法人C o I U コー・イノベーション大学

■ 教育目標

本学が設置する共創学部地域共創学科は、共創の実現に向けて、「理論」・「対話」・「実践」を往還するプロセスを通じて、地域や立場を越境し、課題解決および社会変革を実行する力を備えた人材を養成することを目標とする。（学則第1条第2項）

■ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、養成する人材及び卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するため、次のとおりカリキュラム・ポリシー（CP）を定める。

- ・ CP1 広く社会を理解し、継続して社会で活躍するために必要となる、教養、文化、語学やキャリア形成に関する基礎的な知識を修得するための科目を配置する。
- ・ CP2 実践に向けて他者と対話を行うために、経営学的な意思決定手法、情報伝達手法、コミュニケーション能力を修得するための科目を配置する。
- ・ CP3 共創に必要な経済学・経営学等に関する学術的知識および地域の情報を調査・収集し、課題解決に向けて必要な分析力を修得するための科目を配置する。
- ・ CP4 地域の現状と課題を理解し、地域が抱える課題に対する深い理解と、地域課題の解決に必要な統合的な知識を修得するための科目を配置する。
- ・ CP5 実践を通じて、地域での共創に必要な、地域課題を認識し、解決に向けた調査・分析・実行力を養成するための科目を配置する。
- ・ CP6 理論と対話と実践を統合し、地域課題や社会課題の解決に向けた共創力を養成するための科目を配置する。
- ・ CP7 全開講科目について、それぞれの学習目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、シラバスに明記して学生に周知し、学習成果を厳格かつ公正に評価する。

■ 教育課程編成の特色

上記方針を実現するため、教育の質保証を図る観点から、次の取組を採用する。

- ・ アクティブラーニングの活用（双方向・少人数の対話型授業）
- ・ 学修ポートフォリオの作成による学修成果の可視化
- ・ 課題解決型学習（PBL）及び実習（ボンディングシップ）の実施
- ・ クォーター制（春学期・夏学期・秋学期・冬学期の4学期制）